



2024年2月20日
東日本旅客鉄道株式会社

障害のある方・サポートが必要な方への新たな Web サービスについて ～よりインクルーシブな社会を目指して～

JR 東日本は、より多くのお客さまのシームレスな移動を実現するために、2024年2月26日(月)より、えきねっとにてマイナポータルとの連携を活用した「身体障害者割引乗車券・知的障害者割引乗車券」の取り扱い、および「新幹線車いす対応座席」の取り扱いを開始します。また、同日より列車に乗車するときの介助を事前に Web でお申込みいただける「JRE おでかけサポート」のサービスを開始します。

1. もっと「シームレスな移動」を実現します

- えきねっとで身体障害者割引乗車券・知的障害者割引乗車券の取り扱いを開始します

取扱開始日：2024年2月26日(月) 午前11時

- マイナポータルと連携することで、窓口に行かずに障害者割引きっぷが購入できます。
- 障害者割引を適用した JR6 社のきっぷが購入できます。
- 障害者割引を適用した「新幹線 e チケット」が購入できます。なお、「トクだ値」商品の場合は特急券部分に「トクだ値」の割引率を適用した商品が購入可能です。
- 在来線特急について、障害者割引乗車券と特急券をえきねっとにてワンストップで購入いただけるようになります。

※マイナポータルより手帳情報を取得し、えきねっとと会員情報と連携します。マイナポータルからの手帳情報取得フローについては別紙をご参照ください。



【新幹線】

乗車券部分：障害者割引
特急券部分：トクだ値割引 で

「新幹線 e チケット」が
ご利用いただけます！

※「新幹線 e チケット(トクだ値)」は
列車、座数および区間限定の商品です。



【在来線特急列車】

障害者割引の乗車券も
在来線チケットレス特急券(トク割)も

えきねっとにて
ワンストップで購入可能！



※えきねっとにて購入した乗車券については、乗車前に指定席売機等で発券が必要です。

※乗車券と特急券がセットになった「特急トクだ値」(乗車券つき)については、乗車券部分に障害者割引を適用した商品の取扱いはございません。

➤ えきねっとで新幹線の車いす対応座席の取り扱いを開始します

取扱開始日：2024年2月26日(月) 午前11時

- 東北・秋田・山形・上越・北陸・北海道新幹線の車いす対応座席(本人席、付添席、車いすスペース)が購入できます。

※車いす対応座席については、お身体の不自由なお客さまだけでなく、怪我等により車いすを利用されているお客さまもご予約いただけます。

※時間帯により駅係員が不在となる駅等、一部の駅で乗降する場合はえきねっとでのご購入の対象外となります。

※新幹線車いす対応座席への「トクだ値」設定はございません。

※「車いすスペース」は一部の新幹線に設置されております。詳しくは当社 HP「お身体の不自由なお客さまへ」(https://www.jreast.co.jp/equipment/equipment_1/wheelchair/)をご参照ください。



2. 移動の「安心」を実現します

➤ 列車に乗降するときの介助を事前に Web でお申し込みいただける「JRE おでかけサポート」のサービスを開始します

サービス開始日：2024年2月26日(月)※2024年2月28日(水)以降ご利用分から受付開始します。



「JRE おでかけサポート」イメージ図

- これまでは乗降するときの介助を事前に駅窓口等で受付けている駅もありましたが、サービス導入線区においてはご出発の2日前の午前12時までは駅に行かず Web からお申し込みいただけるようになります。

- 利用可能線区

JR 東日本管内の新幹線全線区、京葉線(東京～蘇我)、南武線(川崎～立川)

- お申し込み方法

JR 東日本ホームページ(<https://www.jreast.co.jp/equipment/jreodekakesupport/>)からお申し込みいただけます。お申し込みには、お名前・メールアドレス・電話番号などの入力が必要となります。なお、マイナンバーカードの登録や手帳の提示は不要です。

※ホームページは2月26日(月)午前7時にサイトオープンします。

※利用可能線区は今後拡大していく予定です。詳細は決まり次第お知らせいたします。

3. お客様に便利な「インクルーシブ」を実現します

- お客様が使いやすいサイトとするため、えきねっと Web サイトにおいて Web アクセシビリティ対応を進めております。
- えきねっとでは、お電話での問合せが難しい方のためにチャットによる問合せ対応や、ウェブ操作に不安のある方のためにサポートセンターオペレーターによる画面操作補助サービスを導入しています。
- えきねっとでは、今後も車いす対応座席の取扱対象路線の拡大、アプリでの障害者割引乗車券や車いす対応座席の予約等の検討を進め、より多くのお客様に便利でシームレスな移動を提供し、インクルーシブな社会を目指します。

【別紙】 えきねっとでの取扱いフローイメージ(マイナンバーカードを用いた手帳情報の確認)

お客様のマイナンバーカードを読み取り、マイナポータル上の情報取得サービスを利用して障害者手帳情報を取得し、えきねっとアカウントに情報を連携します。

えきねっと

マイナポータル

えきねっと

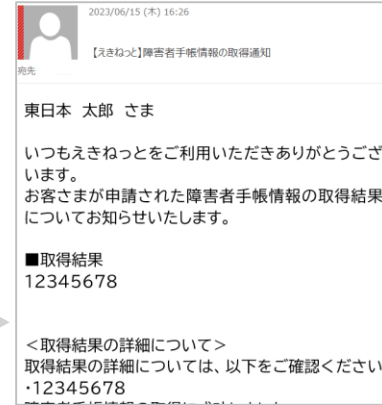
マイページ

パスワード入力

マイナンバーカード読み取り

結果通知メール

トップページ



障害者手帳情報登録
メニューを選択

マイナポータルに遷移
ICカードリーダーまたはスマートフォンにて
マイナンバーカードを読み取り
→マイナポータルの「自己情報取得API」を活用し
障害者手帳情報を取得
→その後、えきねっとで会員アカウントへ連携

えきねっとで会員アカウントへの
手帳情報取得結果をメールにて
お客様に通知

対象のお客様に関しては
トップ画面に「割引きっぷ申込」ボ
タンを表示

※ 障害者手帳／療育手帳の情報
については1年毎に確認

※画面はイメージです

3月18日
サービス開始

障がい者用Suicaのご案内

2023年3月18日より、障害者割引が適用されるお客さまにも
よりシームレスかつ快適にご利用いただけるよう
新たなICカードのサービス【障がい者用Suica】を開始します。

サービス 対象

- 第1種身体障害者または第1種知的障害者の大人のお客さま
 - 障がい者本人を介護する任意の1名のお客さま
- ※第2種身体障害者および第2種知的障害者のお客さまはサービス対象外です。 ※小児の設定はありません。

障がい者用Suica

障がい者Suica(本人)



介護者Suica



カードの取扱い

- 障がい者用Suicaは、障がい者ご本人と介護するお客さまの定期券区間、有効期間が同一の場合に限り定期乗車券としてご利用いただくこともできます。
- 障がい者ご本人は、お手持ちの「無記名Suica」または「My Suica」を「障がい者Suica(本人)」に変更できます。
- 「介護者Suica」は、「無記名Suica」から変更できます。
- 「モバイルSuica」を障がい者用Suicaとしてご利用いただくことはできません。
- 磁気定期券およびSuica定期券からの変更はできません。

購入箇所

- Suicaエリア内のJR東日本の駅のみどりの窓口および話せる指定席券売機(オペレーターによる対応)
- ※有効期間の更新については、改札窓口でも受付いたします。

購入時の注意点

- 本サービスの対象であることを確認するため、次の書類の呈示・提出が必要となります。
(1) 身体障害者手帳または療育手帳の呈示
(2) 障がい者用Suica申込書の提出(新規購入および有効期間の更新が必要な場合)
- 「障がい者Suica(本人)」と「介護者Suica」は**同時**にお買い求めください。別々にお求めいただくことはできません。また、本サービスは障がい者1名に対してSuicaまたはPASMOいずれか1組限りとなり、複数お持ちいただくことはできません。

カードの有効期間について

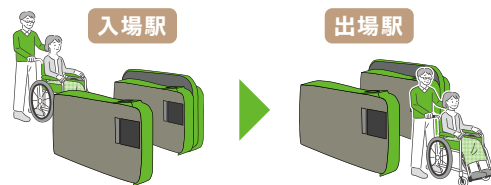
- 窓口などで身体障害者手帳または療育手帳をご呈示いただき、サービス対象であることが確認できた場合には1年後の同月末日まで有効期間を延長いたします。
- カードの有効期間は、お求めいただいた日から**1年後の同月末日まで**です。
- 定期券の購入またはカードを再発行する際等にも、有効期間を更新します。
- 有効期間等が記載されているご案内用紙(レファレンスペーパー)は、みどりの窓口または改札窓口にてお渡しできます。

利用条件

「障がい者Suica(本人)」「介護者Suica」は同時かつ同一行程で乗車される場合に、自動改札機またはバス運賃機にて割引運賃を自動精算してご利用いただけます。「障がい者Suica(本人)」「介護者Suica」を別々または単独でご利用いただくことはできません。**ご利用の際は、身体障害者手帳または療育手帳の携行をお願いいたします。**

※適切な利用についてのご案内を行うため、ご利用状況の確認が必要と認められる場合には、障がい者用Suicaの利用停止措置を行うことがあります。

- 片道の営業キロが101キロ以上の区間をご利用になる場合、降車時に改札窓口にてお申し出いただいたうえで、単独でのご利用が可能です。
- 鉄道会社間で乗継割引を実施している区間をご利用になる場合、それぞれの会社線ごとに障害者割引が適用となる運賃を算出し、合算した額に乗継割引を適用します。



自動改札機で障害者割引を適用したIC運賃を自動精算

利用可能エリア

右図エリア内のSuicaまたはPASMOがご利用可能な鉄道・バス事業者でお使いいただけます。

※SuicaまたはPASMO以外の障がい者用ICカードは、Suica・PASMO(鉄道・バス)エリアではお使いいただくことはできません。

※地域連携ICカードを導入している各事業者のバスでもご利用いただけます。

青森・盛岡・秋田Suicaエリア

※2023年5月27日サービス開始予定

仙台Suicaエリア

※odecaエリア(2023年7月以降サービス開始予定)、icscaエリアではご利用いただけません。

新潟Suicaエリア

※りゅうとエリアではご利用いただけません。

首都圏Suica・PASMOエリア

カード紛失時または故障時のお取り扱い

カードを紛失された場合や故障が生じた場合などには、再発行いたします。 ※同じ名義で新たにお求めいただくことはできません。

サービス利用可否一覧

	障がい者Suica(本人)	介護者Suica	My Suica(記名式)	
定期券	○	○	○	●障がい者ご本人と介護するお客さまの定期券区間、有効期間が同一の場合に限りお求めいただけます。●オフピーク定期券の発売も可能です。●障がい者用Suicaは、Suica FREX定期券およびグリーン定期券としてはご利用いただけません。
新幹線停車駅が2駅以上含まれる「Suica定期券」での新幹線のご利用	○	○	○	●新幹線特急料金については、大人無割引料金での収受となります。
新幹線eチケット	○	○	○	●障害者割引は適用となりません。●えきねつとトクだ値等の各種割引サービスはご利用いただけます。●JR西日本金沢駅の新幹線乗換改札口ではご利用いただけません。
タッチでGo!新幹線	×	×	○	●障害者割引を適用したきっぷをお求めいただく方が安くご利用いただけるケースが多いため、障がい者用Suicaではご利用いただけません。
タッチでエキナカ	○	○	○	●大人無割引料金でのご利用となります。
JRE POINT	○	×	○	●JRE POINTは、登録したご本人に対して提供しているサービスのため、任意の1名の方にご利用いただける「介護者Suica」ではご利用いただけません。
おトクなきっぷ	×	×	○	●障がい者用Suicaを都度ご利用いただく方が安くなるケースが多いため、障がい者用Suicaではご利用いただけません。
電子マネーのご利用	○	○	○	
オートチャージ	○	×	○	●リンク設定するビューカードとSuicaは、それぞれの「氏名(カナ)」「生年月日」「性別」が一致する必要があるため、任意の1名の方にご利用いただく「介護者Suica」ではご利用いただけません。

そのほか

「Suica割引定期券の発売」および「Suicaで自動改札機にタッチして入場し、出場時に改札窓口にて身体障害者手帳または療育手帳をご呈示いただき割引運賃を精算するサービス」については、2023年3月18日以降も継続いたします。

※「Suica」「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。※「PASMO」は、株式会社パソモの登録商標です。※掲載の情報は2023年2月現在のものです。※掲載されている写真・イラストはイメージです。※このパンフレットに記載のないSuicaの取扱いについては、Suicaホームページ等をご確認ください。

障がい者用
Suica

は

障がい者
本人

と

介護者

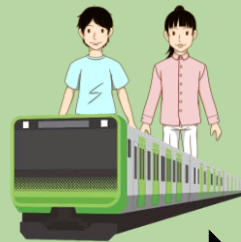
が

一緒にご利用ください。

障がい者用Suicaのご利用方法

障がい者本人と介護するお客さまが同時かつ同一行程で乗車される場合に、改札機にて割引運賃を自動精算してご利用いただけます。

タッチで入場

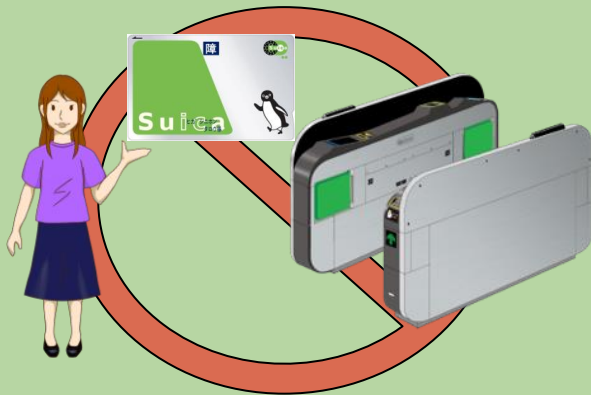


タッチで出場

割引



別々または単独では割引条件を満たさないため、ご利用いただけません。



JR線ご利用の場合、片道の営業キロが101キロ以上の区間は、第1種の障がい者ご本人が単独でご利用可能です。

※降車時は改札窓口にお申し出ください。



101km~



- ご利用の際は、身体障害者手帳または療育手帳の携帯をお願いいたします。
- 利用条件を満たしていない等、ご利用状況の確認が必要と認められる場合には、障がい者用Suicaの利用停止措置を行うことがあります。

介護者Suicaについて

障がい者本人を介護する任意の1名のお客さまにご利用いただくSuicaです。ご利用日によって介護者が異なる場合も、1枚の介護者Suicaでご利用いただけます。



専用



「障がい者Suica (本人)」は名義人専用のSuicaです。



任意の1名



「介護者Suica」は任意の介護者1名がご利用いただけるSuicaです。

おしえて!

??

障がい者Suicaの使い方

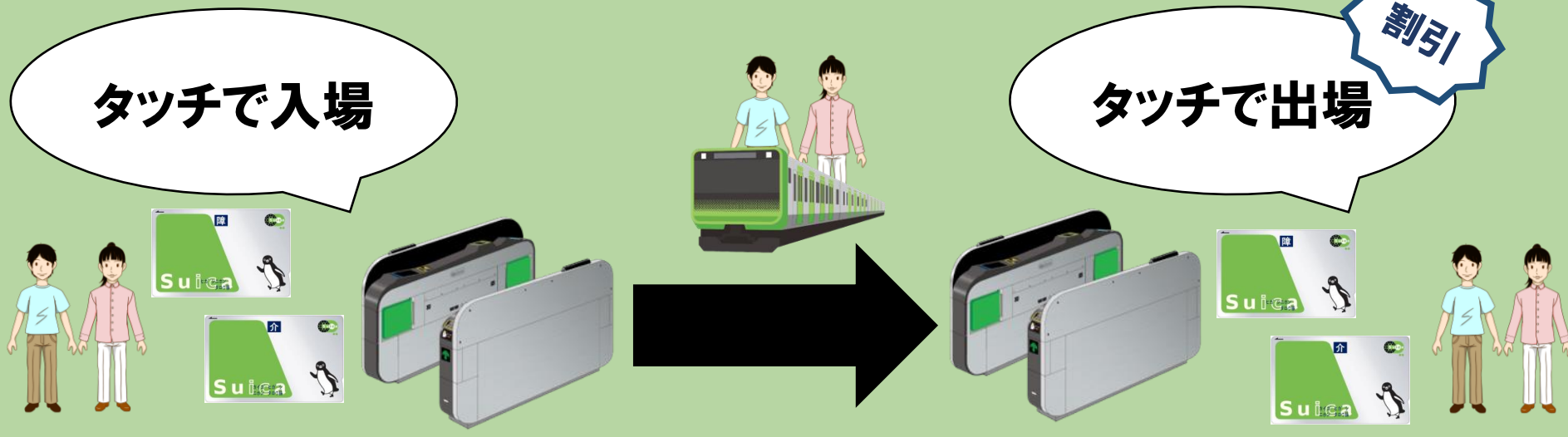
Q1. 自動改札機で入出場できるって本当？

A1. はい、障がい者本人と介護するお客さまが同時かつ同一行程で乗車される場合に、改札機にて割引運賃を自動精算してご利用いただけます。

タッチで入場

タッチで出場

割引



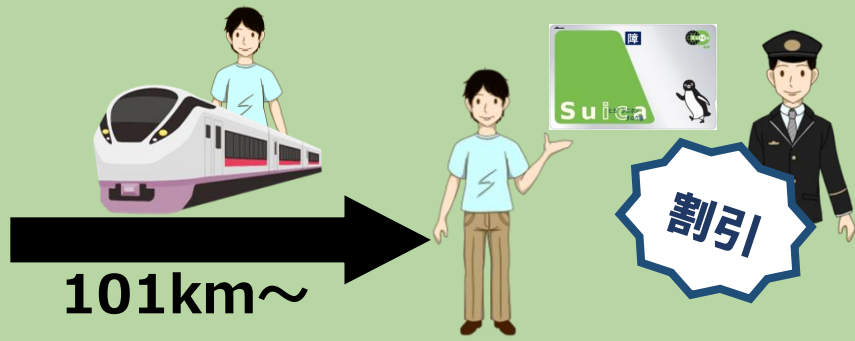
Q2. 障がい者単独では利用できないの？

A2. 別々または単独では割引条件を満たさないため、ご利用いただけません。ただしJR線をご利用の場合、片道の営業キロが101キロ以上の区間は、第1種の障がい者本人が単独でご利用可能です。

※降車時は改札窓口にお申し出ください。



障がい者本人の単独利用



- ご利用の際は、身体障害者手帳または療育手帳の携行をお願いいたします。
- 利用条件を満たしていない等、ご利用状況の確認が必要と認められる場合には、障がい者用Suicaの利用停止措置を行うことがあります。

Q3. 日によって違う介護者が付き添うときは？

A3. 「介護者Suica」は、障がい者本人を介護する任意の1名のお客さまにご利用いただくSuicaです。ご利用日によって介護者が異なる場合も、1枚の介護者Suicaをご利用いただけます。



「障がい者Suica (本人)」は名義人専用のSuicaです。



「介護者Suica」は任意の介護者1名がご利用いただけるSuicaです。

旅と暮らしを
新しいカタチに。
Styling the new

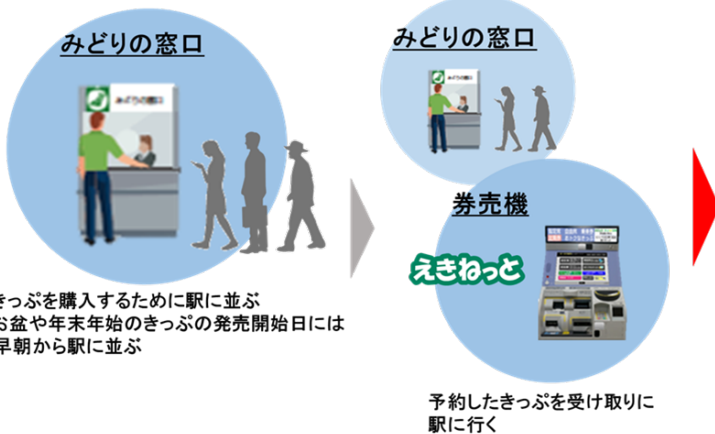
2021年5月11日
東日本旅客鉄道株式会社

チケットレス化・モバイル化を推進し、「シームレスでストレスフリーな移動」の実現に向けた乗車スタイルの変革を加速します

- JR 東日本グループでは、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「輸送サービスの質的変革」、「シームレスでストレスフリーな移動」の実現に向けて取り組んでいます。
- インターネットやスマートフォンによるきっぷ購入の利便性をさらに向上することで、より多くのお客さまに駅の窓口や券売機に立ち寄ることなく、ご自身のペースで列車をご利用いただけるよう、乗車スタイルの変革を加速します。
- また乗車スタイルの変革により、非接触ニーズにもお応えし、JR 東日本グループはこれからもウィズコロナ・ポストコロナ社会における新しい暮らしを提案していきます。

1 きっぷ購入スタイルの推移と目指す姿

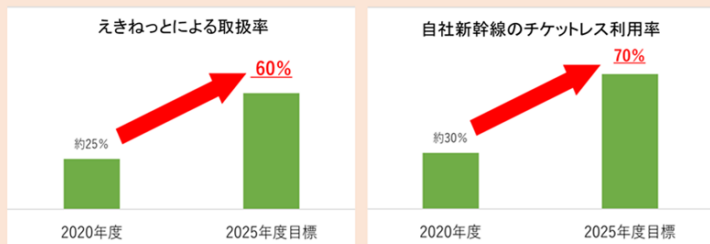
これまで



現在～これから



えきねっと・自社新幹線チケットレスのご利用状況と2025年度目標

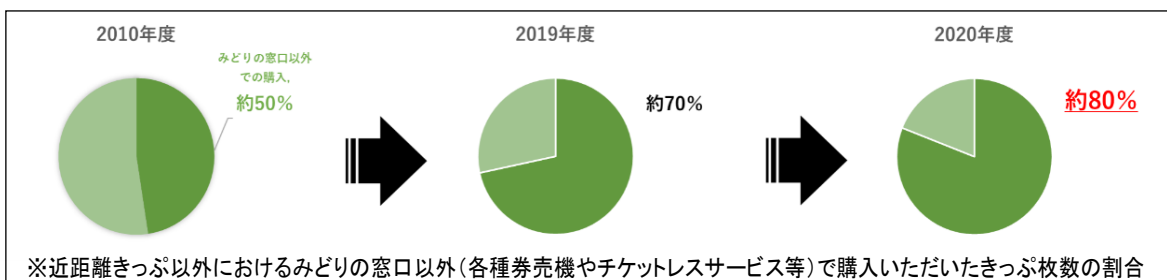


※当社で発売した特急券やおトクなきっぷにおける「えきねっと」予約の割合

- ・「シームレスでストレスフリーな移動」の実現
- ・駅の窓口や券売機に立ち寄ることなく、ご自身のペースで列車をご利用

○近距離では Suica のサービス開始以降、多くのお客さまに券売機に立ち寄ることなくご利用いただいています。

○近距離以外のご利用においては、約 8 割が、みどりの窓口以外のきっぷの販売サービスにより、ご購入いただいています。



○新幹線や特急列車のご利用に際し、インターネットやスマートフォンでお客さまのご都合にあわせてきっぷを購入し、駅の窓口や券売機できっぷを受け取ることなくご乗車いただけるサービスを拡大します。

○チケットレスで便利に、おトクにご利用いただくとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会における非接触ニーズにもお応えします。

■ますます便利なサービスを拡大しています。

・2021年3月:「タッチでGo! 新幹線」のサービスエリア拡大

東海道線特急への「えきねっとチケットレスサービス」導入

・2021年6月:「えきねっと」のリニューアル(2021年4月13日発表)

<参考>「えきねっと」リニューアルの概要

~もっと快適に~

(1) 予約サクサク、旅行ワクワク。身近で使いたくなる「Web サイト」へ

○思い立ったらすぐ経路検索 ○イメージ通りの座席をチョイス ○気軽に空席/価格比較

(2) 新幹線 e チケット 3 タップ予約 「アプリ」をもっとスムーズに

○お気に入り列車を登録でき、素早く予約が可能

~もっと便利に~

(3) 送って便利にバラバラ受取り かざして簡単 5 秒で発券「QRコード」

○2人以上の予約でも、QRコードを送って離れた同行者が別の駅で別の時間に発券可能

(4) コンビニやATM、色々な方法で支払い可能に

~もっとおトクに~

(5) 「おときゅう e チケ」でもっとおトクを便利に

○「大人の休日倶楽部割引」が適用された新幹線 e チケット商品がデビュー

○「株主優待割引」「往復割引」が適用された新幹線 e チケット商品や、「大人の休日倶楽部パス」「週末パス」など、一部「おトクなきっぷ」も購入可能に

(6) JRE POINT が貯まる・使える

○新幹線 e チケット(指定席)やチケットレスサービスのご利用で JRE POINT が貯まる

○貯まった JRE POINT を「特典チケット」や「アップグレード」に使える

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2 みどりの窓口の配置

- 乗車スタイルの変革においては、お客さまに便利に、おトクにご利用いただくサービスの提供とあわせ、みどりの窓口によらない販売体制へのシフトを進め、駅社員は幅広いサービスの提供に注力します。
- みどりの窓口は、一定のご利用のある新幹線・特急停車駅のほか、ご利用の多い駅を中心に、バランスを考慮した配置へと見直します。

【みどりの窓口設置駅数のイメージ】

	現在	2025年
首都圏	231 駅	70 駅程度
地方圏	209 駅	70 駅程度

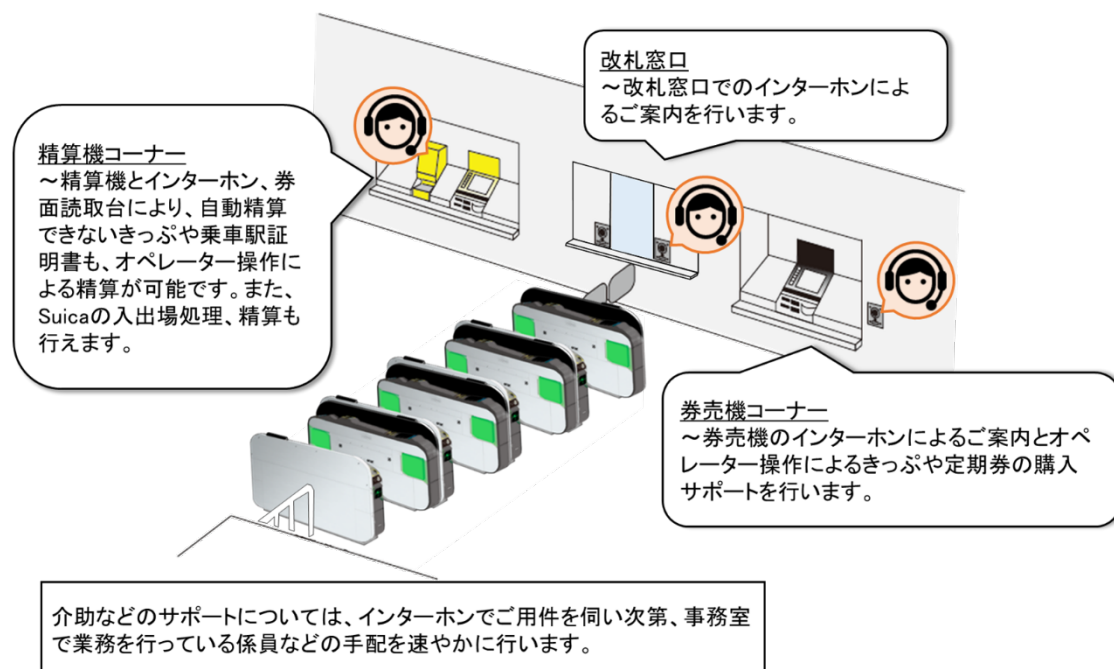
※このほか、一部の駅では、定期券のご購入が多い時期などに、臨時に営業する窓口を設置することがあります。

- あわせて、「話せる指定席券売機」の導入の拡大を進めます。(2021年5月時点で14駅に導入) 機器の操作に不慣れなお客さまや証明書が必要なきっぷの購入などについては、オペレーターがサポートすることにより安心してご利用いただけます。

3 お客さまサポートコールシステム(改札窓口休止時間帯のご案内)

- 首都圏を中心に、改札窓口の休止時間帯は「お客さまサポートコールシステム」によるご案内を行っています。
- お客さまに呼び出しいただくことで、必要のご案内のほか、精算やきっぷの購入のサポートを行うとともに、移動のサポートを行う係員の速やかな手配などを行います。
- 今後も駅社員が幅広いサービスの提供に注力することとあわせ、当システムによっても、お客さまに寄り添ったご案内を行っていきます。
- なお、2014年より「駅遠隔操作システム」の名称でICTを活用した駅業務体制を構築してきましたが、お客さまに身近なシステムとして安心してご利用いただくことを目的に、2021年5月1日から「お客さまサポートコールシステム」と変更しました。




【「お客さまサポートコールシステム」の概要】



■別紙

【みどりの窓口以外のきっぷの販売サービス】

サービス	導入開始	内容
	2001年4月 (2021年6月 リニューアル予定)	インターネットを利用して JR 券(乗車券・特急券など)の予約・購入を行うための年会費無料の個人向け会員サービスのほか、法人サービス「ビジネスえきねっと」、訪日外国人向けサービス「JR-EAST Train Reservation」があります。(えきねっと会員数累計 1,330 万人:2021年3月末時点)
	2010年3月 (2021年3月 東海道線特急に導入)	スマートフォンから在来線特急列車の指定席を「えきねっと」で予約し、きっぷをみどりの窓口や券売機で受け取ることなく、そのままご利用いただけます。
	2020年3月	東北・北海道、上越、北陸、山形、秋田の各新幹線の指定席および自由席を「えきねっと」で予約し、きっぷをみどりの窓口や券売機で受け取ることなく、お持ちの交通系ICカード(Suica など)やモバイル Suica で新幹線自動改札機にタッチするだけで、各新幹線をスムーズにご利用いただけます。
	2018年4月 (2021年3月 サービスエリア拡大)	Suica などの交通系 IC カードの入金(チャージ)残額で新幹線の普通車自由席をご利用いただけるサービスです。事前に乗車券・特急券を購入することなくご利用いただけます。
	2006年1月	スマートフォンの操作だけで、券売機に立ち寄ることなくチャージできるほか、定期券、普通列車グリーン券をご購入いただけます。(モバイル Suica 会員数 1,092 万人:2021年3月末時点)

サービス	導入開始	内容
指定席券売機 	2002年5月	お客さまご自身の機器操作により指定席・自由席の特急券や乗車券、定期券などをご購入いただけます。また、えきねっとなどで予約されたきっぷをお受け取りいただけます。(492駅に導入:2021年3月末時点)
話せる指定席券売機 	2020年3月	指定席券売機と同じように、お客さまご自身の機器操作により指定席・自由席の特急券や乗車券、定期券などをご購入いただけるほか、オペレーターとの会話を通して安心してきっぷをご購入いただけます。(14駅に導入:2021年5月時点)
多機能券売機 	2009年2月	乗車券類、定期券、ICカードの購入およびICカードのチャージにご利用いただけます。また、クレジットカードでの定期券購入にも対応しています。(507駅に導入:2021年3月末時点)

【「話せる指定席券売機」でできること】

①お客さまご自身による操作

～指定席券売機の機能をご利用いただけます。
(乗車券、特急券、定期券、回数券の購入、えきねっとの受け取りなど)

②オペレーターによる発売

～呼び出したオペレーターの操作により、証明書などが必要なきっぷ・新年度の通学定期券の購入などが可能です。

③オペレーターによる操作サポート

～指定席券売機の操作に不慣れなお客さまに対して、音声および画面上のカーソルにより、購入操作のサポートが可能です。

「話せる」 指定席券売機



話せる 指定席券売機

各種ボタンのご案内



※一部の駅では画面が異なる場合があります。

指定席
 ・新幹線・在来線
 ・新幹線～在来線のりつぎ購入
 ・回数券等への座席指定
 ・指定席の変更
 (座席未指定等への座席指定)

自由席
 ・新幹線・在来線
 ・新幹線～在来線のりつぎ購入
 ・新幹線自由席特急等の日付変更

指定席・自由席のきっぷが買える!

座席表(シートマップ)より
好きな座席が選べます。
 ※一部列車を除く。



列車の変更もできます。
 ※条件によって一部お取扱いできない場合があります。

乗換案内から購入
 時刻にあわせて 目的地までの列車を提案

全国の発着駅・時刻を
 選んできっぷが買える!

利用区間や発着時刻から全国の列車を検索できます。
 組み合わせや時間の選択も**カンタン**。
 色々なきっぷが**ラクラク**買えます。
 ※一部列車を除く。

おトクなきっぷ
 おトク

「おトクなきっぷ」
 が買える!

フリーパスなどが買えます。
 ※「おトクなきっぷ」の内容は箇所・時期によって異なります。

大人の休日倶楽部
 割引きっぷ

「大人の休日倶楽部」
 のきっぷが買える!

会員専用の割引きっぷも買えます。
 ※会員ご本人様1名分のみ購入可能です。

インターネット
 予約の受取り

インターネットで申込んだ
 きっぷや「JR東日本
 国内ツアー」が受取れる!

※お受取りには条件がありますので、詳しくは
 えきねっとホームページをご覧ください。

定期券
 ・新規・継続購入
 ・ネットde定期

14日前から定期券が
 買える!

新規・継続ともに**14日前**から購入できます。
 (通学定期券購入のお客さま(新規・年度跨り))
 ※「通学証明書」または「通学定期乗車券購入兼用証明書」の確認が必要です。オペレーターが
 ご案内いたしますので、呼び出しボタンを押してください。
 ※定期券の種類によって、一部お取扱いできない場合があります。

乗車券 入場券
 株主優待
 買いまちがい払いもどし

乗車券が買える!
 株主優待のご利用も可能です。

QRコードの
 読取り

大人の休日倶楽部パスや
ネット定期
 等のお受取りができます。

オペレーターが案内・
 発券します
 An operator guides you and
 issues tickets.

呼び出し
 Call for Assistance

オペレーターが案内・発券します!

- ジパング倶楽部や通学定期券等、証明書が必要なきっぷや定期券の発券
- きっぷの払戻し

※一部駅ではお取扱いが出来ない場合があります。
 ※各種割引証は事前に記載をお願いします。

端末操作が不安な方は
オペレーターがご案内いたします。

話せる指定席券売機はこんなところも便利!

交通系ICカードの入金(チャージ)
 残額でもきっぷを購入できます!

- ※定期券の購入など一部を除く。
- ※チャージはできません。
- ※Suica エリア内のみ対象となります。



クレジットカードもご利用いただけます。

ご利用いただける
 クレジットカード

※カードご利用の際には暗
 証番号が必要です。



宛名欄付きの
 領収書も
 発行できます。

